



ナマズの知恵袋

平成31年(2019年)4月1日
編集・発行 滋賀県立図書館

さようなら **平成!** ～その時代を振り返る～

2019年5月1日、天皇陛下の譲位と皇太子殿下の天皇即位に伴い新たな元号の時代が始まります。平成最後の「ナマズの知恵袋」では、平成約30年を紐解く手助けとなる資料をご紹介します。



平成のニュースを探る!



びわ湖タワーの観覧車の名前を覚えていませんか?

大津市今堅田にあったレジャー施設のびわ湖タワー。平成13年8月に惜しまれつつ閉園となってしまいましたが、ランドマークだった大観覧車「イーゴス108」はしばらく残され、平成25年12月に解体が完了しました。そしてその後、ベトナムで再び稼働しているそうです。

滋賀県に関する新聞記事の見出しは当館のウェブサイトで検索することができます。

http://www.shiga-pref-library.jp/wo/si_search/search/

新聞記事の検索には、各社が提供しているデータベースが便利です。

- ◆ 聞蔵(朝日新聞)
- ◆ ヨミダス(読売新聞)など

◆『読売年鑑』読売新聞東京本社, 2018年★ [R-0591-ヨ]

読売新聞に掲載されたニュース1年間分の概要をつかむことができます。各種統計やデータ、分野別人名録などニュースを深く理解するための基礎資料も充実しています。

◆『読売報道写真集』読売新聞東京本社, 2019年★ [G-2107-ヨ]

◆『朝日新聞報道写真集』朝日新聞社編, 朝日新聞出版, 2019年★ [G-2107-ア]

新聞社から毎年発行されている報道写真集は、その年に起きた出来事を視覚的に知りたいときに便利です。『ザ・クロニクル戦後日本の70年』共同通信社, 2014-2015年 [G-2107-1~14] にも報道写真が多く掲載されています。

◆『ニュース年鑑』池上彰監修, ポプラ社, 2019年★ [J-30]

◆『スポーツ年鑑』ポプラ社, 2019年★ [J-78]

小学校高学年から高校生までを主な対象とした学習用の年鑑です。毎年のニュースを写真や図つきで総ざらいすることができ、社会科学習のお供に役立ちます。



平成の大合併

◆『地図で知る平成大合併 保存版』平凡社編, 平凡社, 2006年 [G-3181-ヘ]

◆『平成の市町村大合併・総集編』国際地学協会, 2006年 [G-3181-ヘ]

平成11年の「市町村の合併の特例に関する法律」改正を機に、各地で市町村の合併が進みました。平成の市町村大合併によって変更された境界や地名、その略歴などが掲載されています。

◆『滋賀における平成の大合併10年目の検証』滋賀自治体問題研究所, 2016年 [SB-3100-16]

滋賀県内の市町村の合併前後の財政状況や人口動態等を分析しているほか、住民アンケートによる意識調査も掲載されています。

平成をもっと調べる

◆『平成災害史事典』日外アソシエーツ編集部編, 日外アソシエーツ, 2014年★ [R-2107-二]

自然災害だけでなく社会的災害も収録。発生時期や被害の概略を通覧することができます。

◆『現代物故者事典』日外アソシエーツ株式会社編, 日外アソシエーツ, 2018年★ [R-2803-ケ]

多くの大家が没した平成。分野別の総索引が付属されており、没年月日の調査に重宝します。

◆『1945~2015 総理の演説』田勢康弘監修・解説, バジリコ, 2015年 [G-3121-タ]

戦後70年間の内閣総理大臣の所信表明・施政方針演説を集めた一冊です。当時の首相が注目していた社会情勢が演説の中に込められています。

平成を映す言葉たち

● ● 時代の言葉を調べる ● ●

◆『現代用語の基礎知識』自由国民社、2019年★[R-0310-ケ]

社会情勢から文化まで幅広い分野のニュース1年分をキーワードから読み解く一冊。

◆『外辞苑 平成新語・流行語辞典』亀井肇著、平凡社、2000年[R-8137-カ]

1988年から1999年までの間に誕生した新語・流行語を収録しています。

◆『コンサイスカタカナ語辞典』三省堂編修所編、三省堂、2010年[R-8137-サ]

◆『新語・流行語大全』木村傳兵衛ほか著、自由国民社、2005年[3-8147-キ]

◆『流行語大賞』を読み解く』木下幸男著、日本放送出版協会、2006年[3-8147-キ]

● ● 『広辞苑』の中の「平成」 ● ●

◆『広辞苑』新村出編、岩波書店、2018年★[R-8131-シ]
平成の間に4回の改訂を経ている『広辞苑』。改訂の度に新しく追加された言葉から平成を追ってみましょう。

▶ 平成 3年 (第4版)：「フリーター」「過労死」「単身赴任」
労働問題を中心に、当時の社会情勢を映す用語が見られます。

▶ 平成 10年 (第5版)：「携帯電話」「インターネット」
IT時代の到来を思わせる用語が追加されました。

▶ 平成 20年 (第6版)：「ユビキタス」「サプライズ」「逆切れ」
カタカナ語が多く追加されたほか、若者を中心に定着した言葉も反映されています。

▶ 平成 30年 (第7版)：「iPS細胞」「ニホニウム」「炎上」
最新のIT・科学技術用語を多数収録。インターネットやSNS上でのコミュニケーションが普及したことで、新しい意味が追加された言葉もあります。

滋賀県の平成

平成 3年 5月：信楽高原鐵道とJR西日本の列車衝突事故。

平成 6年 12月：京都の社寺と共に延暦寺が世界文化遺産に登録。

平成 13年 8月：びわ湖タワーが閉園。

平成 15年 7月：伊吹山頂草原植物群落が国の天然記念物に指定。

平成 18年 1月：野洲高等学校が全国高校サッカー選手権で優勝。

平成 18年 4月：彦根城築城400年祭のイメージキャラクターとして「ひこにゃん」が誕生。

平成 22年 7月：三井アウトレットパーク滋賀竜王が開業。

平成 23年 11月：湖南省出身のプロボクサー山中慎介選手がWBCバンタム級の世界チャンピオンに輝く。

平成 24年 8月：瀬田の唐橋の塗り替え、銘板の設置。

平成 28年 11月：長浜曳山祭を含む山・鉾・屋台行事がユネスコの無形文化遺産に登録。

◆『滋賀県災害誌 第4部』滋賀県、2000年 [SB-3600-4]

県内で起きた自然災害・事故災害の詳細を収録。

◆『国宝・彦根城築城400年祭記録集』国宝・彦根城築城400年祭実行委員会事務局編、国宝・彦根城築城400年祭実行委員会、2008年 [SB-2951-08]

◆『滋賀県土木百年表 続編』全日本建設技術協会滋賀県支部滋賀県建設技術協会編集・刊、2013年 [SB-5100-13]

昭和47年度～平成24年度の県内の主要な土木・建設事業について通覧できる資料です。

※年表は「読売新聞 滋賀版 朝刊 2019年(平成31年)1月1日34面」を参考にして作成しました。

1570年の姉川の合戦の元号は？

延暦という時代に何が起きた？

一番期間が短い元号は？

元号 について調べたい！

調べている年月が何という元号なのか、元号の由来は何か、その元号の間に何が起きたのかなどを調べたいときに役に立つ資料をご紹介します！

◆『日本年号史大事典』所功編、雄山閣、2014年 [R-2100-ト]

◆『歴代天皇・年号事典』米田雄介編、吉川弘文館、2003年 [R-2884-ヨ]

◆『元号 全247総覧』山本博文編著、悟空出版、2017年 [G-2100-ヤ]

◆『元号事典』川口謙二・池田政弘著、東京美術、1986年 [2-2100-カ]

